

2023.07.30 ニュース

## ひんやりできた？「階段で怪談」 鹿角市の図書館



「階段で怪談」と題した催しが鹿角市で開かれ、階段に作られたステージで、夏にぴったりの怪談の読み聞かせが行われました。来場者たちは、ひんやりできたでしょうか。

これは、花輪図書館が開館百周年にちなみ、「百鬼夜行」と題して、29日夕方に花輪の複合施設「コモッセ」で行ったものです。

階段で怪談というイベントのタイトルはだじゃれですが、職員たちはいたって真剣です。ろくろ首ややまんばなど、力作の仮装で来場者たちを出迎えました。

日ごろは明るく、和やかな雰囲気のホテルですが、この時ばかりは照明が少し暗く、あやしげな音楽も流れています。

階段に作られたステージに向かって座った来場者たち。子どもたちは雰囲気を察してか、そわそわ、きょろきょろしています。

やがて職員がステージに現れて、遠野物語の「きつね」を朗読し、死体や霊といった怖い言葉を並べると、肩をすくめながら聞く親子の姿も見られました。

さらに、会場で配られていたバルーンが時折あちこちで、大きな音を出して割れるハブニングもあって、思わぬ演出となりました。

訪れていた小学2年の男の子は、「ホールがいつもと違う雰囲気だったし、怖い話だったので、ドキドキしながら聞きました」と話していました。

花輪図書館では、「夏に涼んでもらおうと企画したが、皆さんも、スタッフも楽しそうで良かった。いろいろな角度から、本と人のつながりを増やしていきたい」としています。



(写真はクリックすると見られます)